



* 2014年1月17日、米国にて発表されたプレスリリースの全訳です。
同発表に関するカンファレンス・コール/ウェブキャスト再生、プレゼンテーション資料、および関連資料等は、GE ウェブサイト内「インバスター・リレーション」(*英語のみ)をご覧ください。

GE、2013 年度第 4 四半期および通年の業績を発表

2013 年度第 4 四半期の 1 株当たり営業利益(Operating EPS)は 20%増の 0.53ドル

内部売上成長率は 5%増

営業利益率は 100 ベースポイント増の 18.3%

受注高は 8%増

受注残高は過去最高の 2,440 億ドル

2013 年度第 4 四半期および通年の決算ハイライト

- 2013 年度第 4 四半期の 1 株当たり営業利益(Operating EPS)は 20%増の 0.53ドル
 - ✓ 産業分野事業の 7 部門中 6 部門で利益が増加し、同事業全体で 12%の増益
 - ✓ 産業分野事業の内部売上成長率は 5%
 - ✓ 2013 年度の 1 株当たり営業利益は 9%増の 1.64ドル
- 2013 年度第 4 四半期の米国向け受注高は 8%増、成長市場向けは 13%増、欧州向けは 3%増
- 2013年度第4四半期の利益率は前年同期比で100ベースポイント増、企業買収を除く通年の利益率は66ベースポイント増
 - ✓ 2013 年度中に産業分野事業のコストを目標より多い 16 億ドル削減
- 現金および現金同等物を除くGEキャピタルの最終正味投資額(ENI)を含む利益は38%の3,800億ドル
 - ✓ GE キャピタル・コーポレーション(GECC)のバーゼル 1 規制に基づく Tier 1 普通資本比率は、1.2%増の 11.4%
- 2013年度中に182億ドルを株主に還元
- 現金および現金同等物の年度末残高は890億ドル
- 2014年度の事業見通しは変わらず

2014年1月17日【米国コネチカット州フェアフィールド】

GEは本日、2013年第4四半期の業績を発表しました。当四半期の営業利益は54億ドル、1株当たり利益は前年同期比20%増の0.53ドルでした。一般会計基準(GAAP)ベースの継続事業からの利益は50億ドル、1株当たり利益は20%増の0.49ドルとなりました。当四半期の売上高は前年同期比3%増の404億ドル、通年で1,460億ドルでした。

GE のジェフ・イメルト会長兼 CEO は次のように述べています。「事業環境が一部改善しつつある状況下で、GE は利益および利益率の両方で堅調な四半期業績を達成して 2013 年度を終えることができました。順調な成長市場と堅調な米国の一方、欧州市場では好不調が混在しました。今年度は優れた業績を達成することができ、16 億ドルのコスト削減、利益率の増加、GE キャピタルの規模縮小、180 億ドル以上の株主還元といった 2013 年度の成果に満足しています。」

産業分野事業の利益は 12%増の 55 億ドルでした。産業分野事業の 7 部門中 6 部門で利益が増加しました。産業分野事業の利益率は前年比で 100 ベースポイント増加しました。当四半期のインフラストラクチャー関連の受注高は、8%増の 307 億ドルでした。当四半期末における設備・機器およびサービスの受注残高は前四半期から 150 億ドル増加し、過去最高の 2,440 億ドルとなりました。産業分野事業の売上高は 6%増加し、内部売上成長率は 5%でした。当四半期に成長市場の売上は 10%増加し、9 つの成長地域のうち 6 地域で 2 桁の伸びを達成しました。成長市場の受注高も 13%増加しました。サービス売上高は 6%増加し、ほとんどの分野で利益を上げることができました。

当四半期中に、GEとCFM(GEとスネクマ社が50%ずつ出資した合併会社)は、ドバイ・エアショーにおいてリストプライス400億ドル以上を受注したことを発表しました。GEにとって航空会社向けの契約として過去最大規模となる、リストプライス110億ドル相当のエミレーツ航空向けGE9Xエンジン300基も含まれています。GEはサウジ電力会社向けにFクラスガスタービンを含むコンバインドサイクル発電システムとサービスを提供する7億ドル近くの契約締結も発表しました。また、ブラジルのA-3オークションでは、545メガワットの風力発電事業も受注しました。GEは研究開発への投資により、2013年度も新たな製品を生み出しました。その一部である、14のインダストリアル・インターネットの新技术は、航空会社、エネルギー会社、病院、その他のお客様にダウンタイムの削減、生産性向上、燃料節約、排出量削減をお手伝いしています。

GE キャピタルは引き続き規模を絞り、専門性の高い金融サービスに専念するという戦略を推進しました。GE キャピタルの利益は 38%増加しました。これにはスイスのコンシューマー部門の IPO と BAY の売却分も含まれています。正味投資額の期末残高(現金および現金同等物を除く)は 3,800 億ドルでした。当四半期における出来高は 5%増加し、良好なリターンを得ました。GE キャピタル・コーポレーション(GECC)のバーゼル 1 規制に基づく Tier 1 予想普通資本比率は 1.2%増加して 11.4%になり、正味金利マージン(純資金利ざや)は 5%と堅調でした。GECC は当四半期、親会社である GE に対して 20 億ドルの配当を支払いました。

今年度の GE の営業活動によるキャッシュフロー(CFOA)は、NBC Universal 株式売却関連の税金を除き、174 億ドルでした。現金および現金同等物の当四半期末残高は 890 億ドルでした。当四半期および今年度における GE の堅調なキャッシュフローにより、バランスのとれた資本計画を維持することができました。GE は 2013 年度中に 182 億ドルを株主に還元しました。このうち 78 億ドルが配当で、104 億ドルが株式買戻しでした。当四半期中に、GE は四半期中の配当を 16%増の 1 株当たり 0.22ドルにしました。これはわずか 3 年超で 5 回目の増加です。GE は 2013 年度に 90 億ドルの企業買収も完了しました。

GE は当四半期中にいくつかの投資を行い、2014 年度以降の企業体制強化を図りました。GE は産業分野事業の再編、その他コストとして 1 株当たり 0.05ドルを計上しましたが、産業分野事業における利益によってそのうち 1 株当たり 0.03ドルが相殺されました。これらの取り組みによって、GE は 2014 年度に予定しているコスト削減額を 10 億ドル以上に増やせる見通しです。GE キャピタルは計画に従ってバランスシートの強化、コア資産以外の削減、各種取り組みを行い、最終正味投資額(ENI)を減少させました。

イメルト会長は最後に次のように述べました。「GE は素晴らしい業績で今年度を終えることができました。2014 年度の目標を予定どおり達成できる準備が整いました。」

2013年度第4四半期および通年の決算ハイライト

2013 年第 4 四半期の営業利益は、前年同期比 16%増の 54 億ドル、1 株当たり営業利益は前年同期比 20%増の 0.53ドルでした。一般会計基準(GAAP)ベースの継続事業からの利益は前年同期比 16%増の 50 億ドル、1 株当たり利益(EP)は 20%増の 0.49ドルでした。

非継続事業の実績を含めると、2013 年第 4 四半期の GE に帰属する純利益は 42 億ドル、1 株当たり利益は 0.41ドルでした。前年同期の実績は 40 億ドル(1 株当たり 0.38ドル)でした。これには 1 株当たり 0.04ドルのグレイ・ゾーン関連費用、1 株当たり 0.01ドルの WMC 関連費用、1 株当たり 0.02ドルのロシアでの売却費用を含んでいます。

当四半期の受注高は 3%増の 404 億ドルでした。産業分野事業での売上高は前年同期比 6%増の 288 億ドルでした。GECC の売上高は前年同期比 5%減の 111 億ドルでした。

2013 年度の営業利益は前年比 5%増の 169 億ドル(前年は 160 億ドル)、1 株当たり営業利益は前年比 9%増の 1.64ドル(前年は 1.51ドル)でした。一般会計基準(GAAP)ベースの継続事業からの利益は前年比 4%増の 152 億ドル、1 株当たり利益(EP)は 7%増の 1.47ドルでした。

非継続事業の実績を含めると、2013年度のGEに帰属する純利益は141億ドル、1株当たり利益は1.36ドルでした。前年度の実績は136億ドル(普通株1株当たり1.29ドル)でした。

2013年度の売上高は、前年同期と同等の1,460億ドルでした。産業分野事業の売上高も前年度と同等の1,010億ドルでした。GECCの売上高は前年比3%減の441億ドルでした。

今年度のGEの営業活動による**キャッシュフロー**合計は174億ドル(NBC Universal株式売却関連の税金を除く)でした。産業分野事業の営業活動による**キャッシュフロー**は115億ドル(NBC Universal株式売却関連の税金を除く)でした。

注：別紙の財務諸表には当社の財務状況、業績およびキャッシュフローを測定するうえで不可欠な情報が含まれています。

* * *

GEについて

GEは、世界が直面している困難な課題に取り組む企業です。人材とテクノロジーを最大限活用して、インフラ構築、電力供給、運輸や医療、金融に関するソリューションを提供しています。日本においてGEは、より安全でグリーンなエネルギーの供給や、急速に進む高齢化に対応する医療サービスなどに取り組んでいます。これらの課題を解決するために、技術革新を進め、ステークホルダーと協働して、日本の再生と持続的な成長を目指しています。エンジン創始者とするGEは、イマジネーションを大事にするとともに、実行する会社でもあります。課題解決のために行動を起こす、それがGEです。日本におけるGEの活動については、<http://www.ge.com/jp/>をご覧ください。

GEの投資家向けウェブサイト www.ge.com/investor、コーポレート・ブログ www.gereports.com、当社のFacebookページおよびTwitterアカウント (@GE_Reports を含む)にはGEに関する情報のほか、財務や投資家の皆さま向けの情報が多数掲載されています。これらのウェブサイトにおいて、情報の更新および新たな情報掲載がなされるため、投資家の皆様には随時ウェブサイトをご覧くださいことを推奨いたします。

「将来予想に関する記述」について

この文書には「将来予想に関する記述」、すなわち過去の出来事ではなく、将来に関する記述が含まれています。「将来予想に関する記述」では、予想される将来の業績、財務成績、財政状況にしばしば言及し、「期待する」、「予想する」、「つもりである」、「計画する」、「信じる」、「探求する」、「見込む」、「～であろう」といった言葉を含むことがよくあります。「将来予想に関する記述」はその性質上、程度の差はあれ不確実な事柄に言及します。GEの実際の業績は、「将来予想に関する記述」で述べた内容と実質的に異なる可能性があります。その原因となり得る不確実性には、金利や為替レートの変動および商品価格・株価・金融資産価値を含む現在の経済・金融状況、欧米における欧州公的債務問題およびそれに係る将来的な市場混乱、当社が計画するGEキャピタル・コーポレーション(GECC)の資金調達の可能性やそれに伴う費用、そして、GECCの資産レベルを縮小するための当社の能力に影響を及ぼす、経済・金融市場の状況などが考えられます。また、法人金融・個人向け金融が債務不履行(デフォルト)になるリスク・レベルに影響を与え得る、住宅市場の状況および失業率の推移、日本の消費者金融における過払い金利返還の当社見積もりに対する実際の請求状況(GE Money Japan)、当社の損失可能性見積もりを含む債務予想に影響を及ぼし得るWMCのモーゲージローン証券化に関する係争中または将来的な請求・訴訟、当社が現在の信用格付けを保持できる能力、および当社が信用格付けを保持できなかった場合に生じ得る、当社の資金調達費用や競争力への影響、四半期配当を計画どおりに実施する、もしくは自社株買いを計画どおりに実行する当社の能力に影響を及ぼし得る当社の**キャッシュフロー**や利益など財務状況の適切性、GECCが計画どおりにGEへ配当を支払う能力、内定受注(コミットメント)/落札の成約率、リストプライスでの内定受注/落札後の実際の受注価格、当社の客先である主要産業(航空会社、鉄道、エネルギー生産、不動産、ヘルスケア、あるいはその他の産業)からの需要およびこれらの顧客企業の経営状況、法律および規制・捜査・法的手続・法令遵守リスクの影響(金融関連法令の影響を含む)、予定されている自社株買いや買収・合併事業・売却などの戦略的行為に変更を生じさせ、影響を及ぼす可能性のある、当社の資本配分計画、発表済みの案件完了や買収した事業の統合における当社の成功、北米でのリテール・ファイナンス事業からの計画的で段階的な撤退能力、情報技術またはデータセキュリティ侵害が発生した場合の影響、さらに政治的、経済的、商業的、競争的な性質を持つ、国や地域、世界規模で起こる、その他の多数の事象が含まれます。こうした不確実性により、将来におけるGEの実際の業績は「将来予想に関する記述」で述べた内容と実質的に異なる可能性があります。GEは「将来予想に関する記述」を更新する義務を負いません。

< 本件に関するメディアの方からのお問合せ先 >

日本 GE 株式会社 PR 事務局 (イニシャル内) 担当: 稲垣、油井、浅原

Tel : 03-5572-6062 Fax : 03-5572-6065 E-mail : ge_japan@vectorinc.co.jp

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
損益計算書
(未監査)

12月31日までの3ヶ月間	連結			GE(a)			金融サービス(GECC)		
	2013	2012	V%	2013	2012	V%	2013	2012	V%
売上その他の利益									
商品およびサービス売上	\$ 28,701	\$ 27,080	6%	\$ 28,826	\$ 27,301	6%	\$ 36	\$ 29	24%
その他の売上	932	826		993	830		-	-	
GECCの継続事業による売上	-	-		2,493	1,805		-	-	
GECCのサービス売上	10,749	11,256		-	-		11,041	11,576	
総売上その他の利益	40,382	39,162	3%	32,312	29,936	8%	11,077	11,605	(5)%
売上原価および費用									
商品売上原価、営業管理費 および一般管理費	31,039	29,113		26,231	24,417		5,178	5,118	
支払い利息およびその他の財務費用	2,468	2,934		345	393		2,273	2,682	
投資契約・保険損失・ 保険および年金給付	654	702		-	-		648	713	
貸倒引当金	1,562	1,144		-	-		1,562	1,144	
売上原価および費用合計	35,723	33,893	5%	26,576	24,810	7%	9,661	9,657	-%
継続事業による利益	4,659	5,269	(12)%	5,736	5,126	12%	1,416	1,948	(27)%
法人税等引当額(引当金)	490	(820)		(602)	(694)		1,092	(126)	
継続事業による利益	5,149	4,449	16%	5,134	4,432	16%	2,508	1,822	38%
非継続事業による税引利益(損失)	(787)	(303)		(787)	(303)		(723)	(302)	
純利益	4,362	4,146	5%	4,347	4,129	5%	1,785	1,520	17%
非支配持分の純利益(損失)を除く	158	135		143	118		15	17	
当社に帰属する純利益	4,204	4,011	5%	4,204	4,011	5%	1,770	1,503	18%
優先株主配当	-	-		-	-		(163)	(123)	
普通株主に帰属する純利益	\$ 4,204	\$ 4,011	5%	\$ 4,204	\$ 4,011	5%	\$ 1,607	\$ 1,380	16%
当社に帰属する利益:									
継続事業による利益	\$ 4,991	\$ 4,314	16%	\$ 4,991	\$ 4,314	16%	\$ 2,493	\$ 1,805	38%
非継続事業による税引利益(損失)	(787)	(303)		(787)	(303)		(723)	(302)	
当社に帰属する純利益	\$ 4,204	\$ 4,011	5%	\$ 4,204	\$ 4,011	5%	\$ 1,770	\$ 1,503	18%
継続事業による1株当たり利益									
希釈化後	\$ 0.49	\$ 0.41	20%						
希釈化前	\$ 0.49	\$ 0.41	20%						
1株当たり純利益									
希釈化後	\$ 0.41	\$ 0.38	8%						
希釈化前	\$ 0.42	\$ 0.38	11%						
期中平均株式数									
希釈化後	10,162	10,500	(3)%						
希釈化前	10,090	10,447	(3)%						
1株当たり配当額	\$ 0.22	\$ 0.19	16%						
当社に帰属する利益:									
継続事業による利益	\$ 4,991	\$ 4,314	16%						
調整(税引後):									
営業外の年金コスト/(収入)	426	350							
営業利益(非GAAP財務指標)	\$ 5,417	\$ 4,664	16%						
希釈化後1株当たり営業利益	\$ 0.53	\$ 0.44	20%						

(a) GECCを含めたエクイティ・ベースでのGEの産業事業分野が対象。

単位は百万ドルもしくは百万株。1株当たりの単位はドル。補足のデータを「GE」および「GECC」欄に示す。「連結」欄には、GEとGECC間の取引を含まない。連結および修正事項に関する詳細な情報は www.ge.com/ar2012 に掲載されている2012年連結財務諸表の注記1を参照のこと。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
損益計算書
(未監査)

12月31日までの12ヶ月間	連結			GE(a)			金融 サービス(GECC)		
	2013	2012	V%	2013	2012	V%	2013	2012	V%
売上その他の利益									
商品およびサービス売上	\$ 100,542	\$ 100,149	-%	\$ 101,014	\$ 100,875	-%	\$ 126	\$ 119	6%
その他の売上	3,014	2,563		2,886	2,657		-	-	
GECCの継続事業による売上	-	-		8,258	7,345		-	-	
GECCのサービス売上	42,489	43,972		-	-		43,941	45,245	
総売上その他の利益	146,045	146,684	-%	112,158	110,877	1%	44,067	45,364	(3)%
売上原価および費用									
商品売上原価、営業管理費 および一般管理費	112,284	110,207		93,735	92,727		19,884	19,023	
支払い利息およびその他の財務費用	10,116	12,407		1,333	1,353		9,267	11,596	
投資契約・保険損失・ 保険および年金給付	2,676	2,857		-	-		2,779	2,984	
貸倒引当金	4,818	3,832		-	-		4,818	3,832	
売上原価および費用合計	129,894	129,303	-%	95,068	94,080	1%	36,748	37,435	(2)%
継続事業による利益	16,151	17,381	(7)%	17,090	16,797	2%	7,319	7,929	(8)%
法人税等引当額(引当金)	(676)	(2,534)		(1,668)	(2,013)		992	(521)	
継続事業による利益	15,475	14,847	4%	15,422	14,784	4%	8,311	7,408	12%
非継続事業による税引利益(損失)	(1,122)	(983)		(1,122)	(983)		(1,057)	(1,130)	
純利益	14,353	13,864	4%	14,300	13,801	4%	7,254	6,278	16%
非支配持分の純利益(損失)を除く	298	223		245	160		53	63	
当社に帰属する純利益	14,055	13,641	3%	14,055	13,641	3%	7,201	6,215	16%
優先株主配当	-	-		-	-		(298)	(123)	
普通株主に帰属する純利益	\$ 14,055	\$ 13,641	3%	\$ 14,055	\$ 13,641	3%	\$ 6,903	\$ 6,092	13%
当社に帰属する利益:									
継続事業による利益	\$ 15,177	\$ 14,624	4%	\$ 15,177	\$ 14,624	4%	\$ 8,258	\$ 7,345	12%
非継続事業による税引利益(損失)	(1,122)	(983)		(1,122)	(983)		(1,057)	(1,130)	
当社に帰属する純利益	\$ 14,055	\$ 13,641	3%	\$ 14,055	\$ 13,641	3%	\$ 7,201	\$ 6,215	16%
継続事業による1株当たり利益									
希釈化後	\$ 1.47	\$ 1.38	7%						
希釈化前	\$ 1.48	\$ 1.39	6%						
1株当たり純利益									
希釈化後	\$ 1.36	\$ 1.29	5%						
希釈化前	\$ 1.37	\$ 1.29	6%						
期中平均株式数									
希釈化後	10,289	10,564	(3)%						
希釈化前	10,222	10,523	(3)%						
1株当たり配当額	\$ 0.79	\$ 0.70	13%						
当社に帰属する利益:									
継続事業による利益	\$ 15,177	\$ 14,624	4%						
調整(税引後):営業外の 年金コスト/(収入)	1,705	1,386							
営業利益(非GAAP財務指標)	\$ 16,882	\$ 16,010	5%						
希釈化後1株当たり営業利益	\$ 1.64	\$ 1.51	9%						

(a) GECCを含めたエクイティ・ベースでのGEの産業事業分野が対象。

単位は百万ドルもしくは百万株。1株当たりの単位はドル。補足のデータを「GE」および「GECC」欄に示す。「連結」欄には、GEとGECC間の取引を含まない。連結および修正事項に関する詳細な情報はwww.ge.com/ar2012に掲載されている2012年連結財務諸表の注記1を参照のこと。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
セグメント別業績の要約
(未監査)

(単位: 100 万ドル)	12 月 31 日までの 3 ヶ月間			12 月 31 日までの 12 ヶ月間		
	2013	2012	V%	2013	2012	V%
売上(a)						
パワー&ウォーター	\$ 7,686	\$ 7,652	-%	\$ 24,724	\$ 28,299	(13)%
オイル&ガス	5,306	4,548	17%	16,975	15,241	11%
エナジーマネジメント	2,012	1,934	4%	7,569	7,412	2%
アビエーション	6,170	5,467	13%	21,911	19,994	10%
ヘルスクエア	5,117	5,183	(1)%	18,200	18,290	-%
トランスポート	1,460	1,364	7%	5,885	5,608	5%
アプライアンス&ライティング(b)	2,196	2,068	6%	8,338	7,967	5%
全産業分野事業セグメントの売上	29,947	28,216	6%	103,602	102,811	1%
GE キャピタル	11,077	11,605	(5)%	44,067	45,364	(3)%
全セグメントの売上	41,024	39,821	3%	147,669	148,175	-%
セグメント間取引の消去および本社勘定(a)	(642)	(659)	3%	(1,624)	(1,491)	(9)%
継続事業による連結売上	\$ 40,382	\$ 39,162	3%	\$ 146,045	\$ 146,684	-%
セグメント別利益(a)						
パワー&ウォーター	\$ 1,897	\$ 1,747	9%	\$ 4,992	\$ 5,422	(8)%
オイル&ガス	802	649	24%	2,178	1,924	13%
エナジーマネジメント	46	64	(28)%	110	131	(16)%
アビエーション	1,251	1,039	20%	4,345	3,747	16%
ヘルスクエア	1,062	1,021	4%	3,048	2,920	4%
トランスポート	280	252	11%	1,166	1,031	13%
アプライアンス&ライティング(b)	142	115	23%	381	311	23%
全産業分野事業セグメントの利益	5,480	4,887	12%	16,220	15,486	5%
GE キャピタル	2,493	1,805	38%	8,258	7,345	12%
全セグメントの利益	7,973	6,692	19%	24,478	22,831	7%
セグメント間取引の消去および本社勘定(a)	(2,035)	(1,291)	(58)%	(6,300)	(4,841)	(30)%
GE 金利およびその他の金融手数料	(345)	(393)	12%	(1,333)	(1,353)	1%
GE 法人税引当金	(602)	(694)	13%	(1,668)	(2,013)	17%
継続事業による利益	4,991	4,314	16%	15,177	14,624	4%
非継続事業による税引利益(損失)	(787)	(303)	U	(1,122)	(983)	(14)%
連結純利益	\$ 4,204	\$ 4,011	5%	\$ 14,055	\$ 13,641	3%

(a) セグメント別利益は、セグメントに関連する売上とその他の収入の両方を含む。セグメント別利益の評価対象から除外される項目は、非継続事業、連結子会社の非支配持分、公表済みの GECC 優先株式の配当および会計処理変更による影響である。セグメント別利益は、セグメント別の経営評価方法に応じて、利息やその他財務費用、法人税等を算入する場合も、除外する場合もある。セグメント別利益からこれらを除外しているのは、パワー&ウォーター、オイル&ガス、エナジーマネジメント、アビエーション、ヘルスクエア、トランスポート、アプライアンス&ライティングであり、これは営業利益とも言えるものである。セグメント別利益にこれを含めているのは金融事業 (GE キャピタル) で、これは純利益とも言えるものである。シェアードサービス、従業員福利厚生、情報技術などの特定のコーポレートコストは、利用状況に応じて各セグメントに振り分けられている。残りのコーポレートコストの一部は、各セグメントの正味経費に比例して振り分けられている。

(b) 旧ホーム&ビジネス・ソリューションズ。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
セグメント別業績の要約(未監査)
追加情報

(単位: 100 万ドル)	12 月 31 日までの 3 ヶ月間			12 月 31 日までの 12 ヶ月間		
	2013	2012	V%	2013	2012	V%
GE キャピタル						
売上	\$ 11,077	\$ 11,605	(5)%	\$ 44,067	\$ 45,364	(3)%
セグメント利益	\$ 2,493	\$ 1,805	38%	\$ 8,258	\$ 7,345	12%
売上						
Commercial Lending and Leasing (CLL)	\$ 3,225	\$ 4,052	(20)%	\$ 14,316	\$ 16,458	(13)%
コンシューマー	4,583	3,912	17%	15,741	15,303	3%
リアル・エステート	697	994	(30)%	3,915	3,654	7%
エナジー・フィナンシャル・サービス	442	422	5%	1,526	1,508	1%
GE Capital Aviation Services (GECAS)	1,373	1,397	(2)%	5,346	5,294	1%
セグメント利益						
CLL	\$ 263	\$ 546	(52)%	\$ 1,965	\$ 2,401	(18)%
コンシューマー	2,057	751	F	4,319	3,207	35%
リアル・エステート	128	309	(59)%	1,717	803	F
エナジー・フィナンシャル・サービス	117	107	9%	410	432	(5)%
GECAS	71	343	(79)%	896	1,220	(27)%

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
連結貸借対照表
(未監査)

(単位: 10 億ドル)	連結		GE(a)		金融 サービス(GECC)	
	12/31/13	12/31/12	12/31/13	12/31/12	12/31/13	12/31/12
資産						
現金および有価証券	\$ 132.5	\$ 125.8	\$ 14.0	\$ 15.6	\$ 118.5	\$ 110.3
受取手形および売掛金	21.4	19.9	11.0	9.3	-	-
棚卸資産	17.3	15.4	17.3	15.3	0.1	0.1
GECC の金融債権 - 純額	241.9	257.2	-	-	253.0	268.2
固定資産 - 純額	68.8	68.6	17.6	16.0	51.6	53.0
GECC に対する投資	-	-	78.7	77.9	-	-
営業権・無形固定資産	92.0	85.1	64.6	56.8	27.3	28.3
その他の資産	80.3	109.5	28.7	45.5	59.1	70.0
売却対象事業の資産	0.1	0.2	-	-	0.1	0.2
非継続事業の資産	2.3	3.3	-	-	2.3	3.3
純資産	<u>\$ 656.6</u>	<u>\$ 685.0</u>	<u>\$ 231.9</u>	<u>\$ 236.4</u>	<u>\$ 512.0</u>	<u>\$ 533.4</u>
負債および資本						
借入金および銀行預金	\$ 383.0	\$ 413.8	\$ 13.4	\$ 17.5	\$ 371.1	\$ 397.0
投資契約・保険損失・ 保険および年金給付	26.5	28.3	-	-	27.0	28.7
その他の負債	106.4	111.6	86.1	95.0	27.0	22.2
売却対象事業の負債	-	0.2	-	-	-	0.2
非継続事業の負債	3.0	2.7	0.1	0.1	2.8	2.7
株主資本	131.5	123.0	131.5	123.0	83.7	81.9
非支配持分	6.2	5.4	0.8	0.8	0.4	0.7
負債および資本合計	<u>\$ 656.6</u>	<u>\$ 685.0</u>	<u>\$ 231.9</u>	<u>\$ 236.4</u>	<u>\$ 512.0</u>	<u>\$ 533.4</u>

(a) GECC を含めたエクイティ・ベースでの GE の産業事業分野が対象。

補足のデータを「GE」および「GECC」欄に示す。「連結」欄には GE と GECC 間の取引を含まない。連結および修正事項に関する詳細な情報は www.ge.com/ar2012 に掲載されている 2012 年連結財務諸表の注記 1 を参照のこと。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
GAAP データを補足する財務諸表データ

GAAP 基準で作成されていない連結財務諸表の情報を使用する場合があります。この種のデータは、SEC 基準では「非 GAAP 財務指標」として扱われます。こうした非 GAAP 財務指標は、本リリースで発表した GAAP 指標を補足するものであり、代替するものではありません。ここで取り上げるのは、営業利益、1 株当たり営業利益 (EPS)、産業分野事業の内部売上成長率、現金および現金同等物を除く GE キャピタルの最終正味投資額 (ENI)、GE インダストリアル⁽¹⁾の営業活動で得た現金 (インダストリアル CFOA)、特定項目を除くインダストリアル CFOA、NBCU 取引関連の税金を除く GE CFOA、企業買収による影響を除く営業利益率です。これらのデータは後に最も比較に適した GAAP 基準と照合されます。

営業利益および 1 株当たり営業利益

(単位:100 万ドル。ただし、1 株当たり利益を除く)

	12 月 31 日までの 3 ヶ月間		
	2013	2012	V%
継続事業からの利益	\$ 4,991	\$ 4,314	16%
調整 (税引後): 営業外の年金コスト/(収入)	426	350	
営業利益	<u>\$ 5,417</u>	<u>\$ 4,664</u>	16%
1 株当たり営業利益 - 希釈後(a)			
継続事業からの 1 株当たり利益	\$ 0.49	\$ 0.41	20%
調整 (税引後): 営業外の年金コスト/(収入)	0.04	0.03	
1 株当たり営業利益	<u>\$ 0.53</u>	<u>\$ 0.44</u>	20%

(単位:100 万ドル。ただし、1 株当たり利益を除く)

	12 月 31 日までの 12 ヶ月間		
	2013	2012	V%
継続事業からの利益	\$ 15,177	\$ 14,624	4%
調整 (税引後): 営業外の年金コスト/(収入)	1,705	1,386	
営業利益	<u>\$ 16,882</u>	<u>\$ 16,010</u>	5%
1 株当たり営業利益 - 希釈後(a)			
継続事業からの 1 株当たり利益	\$ 1.47	\$ 1.38	7%
調整 (税引後): 営業外の年金コスト/(収入)	0.16	0.13	
1 株当たり営業利益	<u>\$ 1.64</u>	<u>\$ 1.51</u>	9%

(a) 1 株当たり営業利益は項目ごと計算されています。その為、1 株当たり営業利益の数値を足し合わせると合計数値が異なる場合があります。

営業利益は、当社の主要な年金プランにおける非サービス関連の年金コスト (利息コスト、プラン資産の期待リターンおよび数理的損益の償却から成るコスト) を除外します。主要な年金プランのサービスコストおよび、以前サービスコストに含まれていた項目は営業利益に含まれます。これらの年金コスト項目は、当社従業員への年金給付における継続的サービス関連コストをより正確に反映しているため、経営陣ならびに投資家の皆様が当社の業績を判断する際に、営業利益を指標として提供することが有用であると考えます。GAAP 基準の年金コストにおけるその他項目は主に市場のパフォーマンスに依存するため、これらの項目は当社の営業活動による業績とは別に管理しています。GAAP 基準および営業年金コストのいずれも、必ずしも当社の年金プランに関する現在または将来の資金需要の参考値となるものではありません。また、営業利益による財務指標を、対応する GAAP 財務指標と併せて参照することで、経営陣ならびに投資家の皆様が当社業績を他社業績と比較するのに有用な追加情報となると考えています。

産業分野事業セグメントの内部売上成長率

(単位:100 万ドル)	12月31日までの3ヶ月間		
	2013	2012	V%
セグメント売上:			
パワー&ウォーター	\$ 7,686	\$ 7,652	
オイル&ガス	5,306	4,548	
エナジーマネジメント	2,012	1,934	
アピエーション	6,170	5,467	
ヘルスケア	5,117	5,183	
トランスポテーション	1,460	1,364	
アプライアンス&ライティング	2,196	2,068	
産業分野売上	29,947	28,216	6%
以下の影響を除く:			
企業買収、売却、為替レート 買収、事業売却	(864)	(534)	
および為替レートの影響を除く産業分野事業の売上 (産業分野事業セグメントの本業による内部売上)	\$ 29,083	\$ 27,682	5%

内部売上成長率とは、買収、事業譲渡(投資目的で取得した事業の売却を除く)および為替レートによる影響を除いた売上を測定するものです。前述の影響により、事業活動が大きな変動にさらされ、本来のトレンドが見えにくくなる可能性があるため、それらを除外したデータを提供することによって経営陣ならびに投資家の皆様が、確立され継続中の事業の業績やトレンドについて、より完全な形で理解して頂けると考えています。また、産業分野事業の本業による内部売上成長の情報を別途記載することにより、経営陣および投資家の皆様が当社の産業分野事業の事業トレンドを理解するのに有用な情報となり、他の非金融業の事業や企業とより直接的に比較することができると考えています。当社経営陣は、「内部売上成長率」という用語が他の企業および異なる状況においては、解釈が異なる可能性があることを認識しています。このデータは、異なる会社間の成長率(絶対数ベース)の比較にも効果を発揮する可能性があるものの、こうした評価基準はそれぞれの事業または企業におけるトレンドを評価するのに有用だと考えており、一定期間ごとの業績トレンドの比較に役立つ可能性のあるツールであると考えています。

現金および現金同等物を除く GE キャピタルの最終正味投資額(ENI)

(単位:10 億ドル)	12月31日 2013
金融サービス(GECC)合計資産	\$ 512.0
調整:繰延税金	4.8
GECC 純資産	516.8
非継続事業の資産を除く	(2.3)
無利子負債を除く	(59.3)
GE キャピタル ENI	455.2
現金および現金同等物を除く	(74.9)
現金および現金同等物を除く GE キャピタル ENI	\$ 380.3

ENI を使用して GE キャピタルセグメントの規模を測定しています。この測定方法では、通常の業務において資本支出が不要な、既存の無利子負債を調整することができるため、事業に必要な資本(債務または資本)の有効な指標になると考えています。また、将来的に発生する負債満期に備えて債券を発行することにより多額の現金が発生しますが、追加の資本調達のためには使用しないため、現金および現金同等物を除外することで、GE キャピタルセグメントのための資本が必要な資産を効果的に測定できると考えています。この測定方法によって、すでにお伝えしている金融サービスセグメントの縮小規模目標との比較が容易になることから、投資家の皆様にとって有用であると考えます。

インダストリアル CFOA およびインダストリアル CFOA から NBCU 取引関連の税金および年金拠出金による影響を除外
 GE CFOA から NBCU 取引関連の税金による影響を除外

	12 月 31 日までの 12 ヶ月間		
	2013	2012	V%
(単位:100 万ドル)			
GE の営業活動(継続事業)で得たキャッシュ	\$ 14,255	\$ 17,826	(20)%
GECC からの配当を除く	5,985	6,426	
GE の営業活動(継続事業)で得たキャッシュから GECC からの配当を除外(インダストリアル CFOA)	8,270	11,400	(27)%
調整: NBCU 取引関連の税金による影響	3,184	-	
調整: 年金拠出金による影響	-	433	
インダストリアル CFOA から NBCU 取引関連の税金および年金拠出金による影響を除外	\$ 11,454	\$ 11,833	(3)%
GE の営業活動(継続事業)で得たキャッシュ	\$ 14,255		
調整: NBCU 取引関連の税金による影響	3,184		
GE CFOA から NBCU 取引関連の税金による影響を除外	\$ 17,439		

インダストリアル CFOA は GE が営業活動(継続事業)で得たキャッシュから GECC からの配当金を差し引いたものです。これには次の社内取引による影響が含まれます。GE から GECC へ販売された GE 顧客の受取債権、売上債権管理・資材調達などの GECC のサービス、ビルや機器(自動車を含む)の GECC から GE へのリース、GE から GECC への情報技術(IT)などのサービスの販売、GECC がリース用にサードパーティのメーカーから購入した航空機に搭載されている GE が製造した航空機エンジン、その他の投資、貸付金、会社運営諸経費の配分。GECC からの配当を除いた、GE の営業活動によるキャッシュフローの比較は投資家の皆様にとって有用な分析になると考えています。GECC からの配当金を除くのは、産業事業分野で得るキャッシュフローを反映しないこと、ならびに期毎に金融サービス事業の業績が大きく変動するためです。また、NBCU 取引関連の支払い済み税金と 2012 年の年金拠出金による影響を除いたインダストリアル CFOA の比較は、投資家の皆様にとって有用だと考えています。このキャッシュフローのデータは、産業事業と金融事業の双方を営む企業との比較には適さない可能性もありますが、GECC から得ている配当の額についての追加情報を得ることで、比較が可能になります。インダストリアル CFOA と特定の項目を除外したインダストリアル CFOA のデータは、産業事業分野のキャッシュ創出能力を経営陣ならびに投資家の皆様が正確に判定し、他の非金融業の事業や企業と比較するのに有用と考えるため、GAAP 基準による CFOA 値を補足するデータを示しています。

企業買収による影響を除く営業利益率

(単位:100 万ドル)	12 月 31 日までの 12 ヶ月間		
	2013	2012	V
産業分野事業			
売上	\$ 103,602	\$ 102,811	
営業利益	16,220	15,486	
営業利益率	15.66%	15.06%	60bps
2013 年度中の企業買収の影響を除く:			
売上	\$ (1,503)		
営業利益	(168)		
2013 年度中の企業買収の影響を除く産業分野事業			
売上	\$ 102,099	\$ 102,811	
営業利益	16,052	15,486	
営業利益率	15.72%	15.06%	66bps

産業分野事業セグメントについては、セグメント売上としてのセグメント利益を営業利益率として定義しています。これが産業分野事業の業績を示す有益な方法だと考えています。企業買収の効果によって、産業分野事業セグメントの営業利益率の潜在的な傾向が把握しにくくなるとも考えています。そのため、2013 年度の企業買収による効果を除外して営業利益率を示すことにより、経営陣ならびに投資家の皆様が当社の産業分野事業セグメントの比較をする際に有用であると考えます。